



## 卒業おめでとう

### 菊陽北小卒業生に手作りおもちゃを贈呈



動物をかたどった手作りのおもちゃがずらり

町内の各小学校で卒業式が行われた3月22日、本町の村上秋成地域人権教育指導員から菊陽北小学校の卒業児童と担任一人一人に、記念品として手作りの木のおもちゃ41作品が贈られました。

4年前まで菊陽北小学校で校長だった村上指導員は、退職後も卒業する子どもたちに毎年記念品を贈っています。村上指導員は「木のおもちゃを見て、6年間同じ学校で学び合ったなかまとのつながりを思い出してくれたらと思います」と話しました。

### 短歌会

この冬の厳しき寒さの早緩み彼岸の前に桜咲き初む  
春近み降る雪見ればあわあわと大地にしみる今朝の静けさ  
若者の大いなる夢思いつつ氷上の舞を祈り吾が見む  
一斉に芽吹く狭庭の草木々に牡丹の膨らみ二つみつけぬ  
冬の芽はほぐれて白き花びらを空に広げぬ夕映えの中

梅田 國雄  
河北 幸一  
佐藤せい子  
中村トシエ  
松本 東亜

### 菊陽句会報

### きくよう文芸

兜太逝く日本列島冴え返り	田島 三間	旬みじか今年も逃がし露のとう	財津 早雪
雪焼けの顔に輝く金メダル	宮川ユキエ	沈丁花つぼみはじけて星めきぬ	原野レイ子
啓蟄や地上こよなき陽の満ちぬ	紫藤 祥子	紙ひいな折りて独りの節句なる	寺尾千代子
よきせざるポイント十倍春隣	曾我 育代	背伸ばし母の指さす春の空	高橋 孝子
復興や区画整理の決まる春	曾我トモ子	地震鱗や忘ることなく黄水仙	福田 貴子
野火の屑阿蘇の風情に許しけり	米山るみ子	春の月爆んとばかり赤子泣く	北川しんじ
親しき顔揃ふ兄の忌梅ふふむ	吉田 幸子	きらきらとランナー照らす春の川	田中 亜古
きのふとは裏腹の寒閉講式	木村 信子	それぞれの見詰む未来や卒業歌	佐藤 澄世
林中の春の椎茸日を恋ふて	緒方チエ子		

人権啓発標語 「気づこうよ 相手の気持ち どうなのか 考えよう 自分がされたら どうなのか」  
菊陽北小学校 5年 鹿子木 翔(現在6年生)

### 「弟が持っている個性」



人間はそれぞれ個性を持っている(作者右側)

私には6歳年下の弟がいます。6年前弟が生まれたとき、私はとてもうれしかったです。ずっと弟か妹かがほしかったので、やっとお姉さんになれた私は、小さい弟の世話をするのが好きでした。弟が3歳ぐらいの時、私は弟とほかの同い年の子を比べると、少し様子が違うなと感じ始めました。それは、言葉がうまく話せないということです。相手から言われたことをすぐには理解できず、すぐに行動に移せないこともありましたが、その他は特に違うところはありませんでした。人にはそれぞれ得意なことと苦手なことがあるので、弟は言葉のコミュニケーションが苦手なんだろうと思いました。

弟の得意なところは記憶の力です。一度観たテレビや映画の場面をずっと覚えているし、好きなキャラクターや音楽もよく覚えています。だから、好きなことを覚える記憶力はあると思います。これまで家の中で両親が弟に言葉を教えているときに、急に怒ったように反抗的な態度をとることがありました。そういう時は私は困ったなと思い、少し悲しい気持ちになりました。私と一緒にゲームをして遊んでいるときは私の言っている言葉を理解しているようでした。母から「成那が言葉を教えてあげた方がよく覚えるかもね。」と言われたので時々私も一緒にサポートしています。食事中など毎日の生活の中で例えば「上、下、右、左、前、後ろ」などの簡単な言葉をゲームのようにして教えてあげています。弟は私のピアノやダンスの発表会を見に来てくれたり、部活の卓球の試合を応援しに来てくれます。緊張しているときに弟の明るい表情を見ていると落ち着きます。弟は私に元気を与えてくれる存在です。何年前かに、私は友だちに弟のことを話しました。「弟は一見普通の子に見えるけど、言葉がうまく話せないんだよ」それを聞いた友だちは

菊陽中学校 1年 糟谷 成那(現在2年生)

「へえ」と言って納得してくれて、弟を変な目で見たり嫌がったりしませんでした。私や弟の気持ちを考えてくれて安心しました。今は同じ部活の友だちも弟を他の年下の子と同じように接してくれています。私のまわりには、他人の気持ちを分かってくれる優しい友だちがいます。これから弟にも優しい心をもった友だちができるといいなと思います。

弟は発達障害の中の自閉症という病気を持っています。今まで私は弟以外の障害者とも会ったことがありますが、かわいそうだと思ったことは一度もありません。たとえ外見が違っていても、その人がその人らしく生き生きと過ごせるのが一番大事です。かわいそうだと思うのは相手の気持ちを分かろうとしてみません。どんな障害を持っていても同じ人間として困った時は助け合ってお互いを認め合うのがあたり前だと思います。弟が自閉症だと知って私は姉として言葉を教えてあげています。今は理解していない言葉があっても時間をかけて繰り返し教えているうちに覚える言葉が多くなればうれしいです。

私は「障害」という言葉にあまりよくないイメージを持っています。なぜなら「害」という漢字から連想するのは害虫や公害など他人に害を与える言葉が多いからです。障害者は他人に害を与えるわけではないのだから、「害」という漢字を使うのはおかしい気がします。母は「弟は障がい者ではなく、自閉症という個性をもっているんだよ。」と教えてくれました。人間はそれぞれ別の個性をもっています。障がい者を特別な人間と考えないで、その人の個性だと捉えれば、障がい者に対するイメージが今までよりよくなると思います。今、弟は毎朝郵便受けから新聞を取って来たり、食事の準備の時、食器やはしを並べたりするお手伝いを頑張っています。笑う時にケタケタと大笑いをして家族を明るい気持ちにさせてくれます。私は少し人見知りですが、弟はどんな人ともすぐに打ち解けることができます。それも弟の持つ個性の一つだと思います。勉強やスポーツなど苦手なこともあります。自分に自信をもってどんなことにもチャレンジする強い心を大切にしてほしいです。そして、この先両親がいなくなっても私が弟の支えになれるような頼りがいのある姉でいたい。そのためには私も苦手なことを克服していきたいと思っています。